

## 平成16年度事務事業評価表

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
事業コード		事務事業名	海のまちづくり推進事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いあるまちづくり	港湾・海岸

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民のために
手 段	蒲郡港湾関係者、経済関係者及び行政が一体となった活動、又は、景観整備を行うことで
想定する成果	浜町地区の港湾機能の整備、又は竹島埠頭西側付近の活性化を図る。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
活動状況	—	委員会1回開催	委員会1回開催
景観整備事業	緑地維持管理事業	緑地維持管理事業	緑地維持管理事業
	ポードウォーク街路灯維持管理	ポードウォーク街路灯維持管理	ポードウォーク街路灯維持管理

### ④成果指標

成果指標名	①	②
みなとプロモーション推進委員会	1日あたりの竹島埠頭緑化維持管理費	
成果指標の説明	開催回数（回）	維持管理費／年間日数（円）

### ⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1回
	実績	—	1回	—
成果指標 ②	計画	—	—	4,493円
	実績	2,515円	2,520円	—
事業費	事業費	918	920	1,634
	人件費	4,059	4,018	4,140
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	4,977	4,938	5,774
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,977	4,938	5,774

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	1	港湾整備へは、新たに委員会を設置するなど努力がみられるものの、具体的な成果には時間が必要。
経済効率性	2	2	竹島埠頭緑地は、利用度合と比して1日あたりの費用が廉価である。
事務効率性	1	1	年1回の委員会の開催に対しては非効率であるが、今後の効果が期待される。
必要性	3	3	三河港蒲郡地区の港湾機能や環境整備のために、必要不可欠である。
小計	8 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	3	2	平成17年度に環境整備をモデル事業化し、市民参加度を増やしていく。また、委員会は民間企業の要望による設置。
合計	11 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	
			「うみのまち蒲郡」を推進するためには、海のまちづくりは必要不可欠である。 より今後は、具体的な取組みが必要である。

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<p>浜町の港湾整備を促進するため、平成16年度、港湾関係者、経済関係者及び蒲郡市が一体となり「蒲郡みなとプロモーション推進委員会」を設立した。 竹島埠頭付近の景観を整備するため、平成17年度に一部改修工事を行う。</p>
---

⑧今後改善すべき点

<p>港湾整備を行うにあたり、港湾地区の背後（企業誘致、道路整備促進など）の活動を、行政だけでなく、経済界とともに連携し、活発化する必要がある。 竹島埠頭緑地について、市民及び市民活動団体等の声を踏まえ、必要によっては維持管理の開放を行い、より市民が親しむことができる場所とする。</p>
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

<p>浜町へ企業誘致を行うための優遇税制等の措置 市民団体等への維持管理委託料</p>
---

⑩組織、人員に関する提言

<p>港湾整備や竹島埠頭の活性化を行うために、港湾整備に関する具体的な企画を行う部署が必要。</p>
--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
事業コード		事務事業名	まちづくり推進事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
市民とともに歩むまちづくり	コミュニティ活動

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	市内のボランティア団体やNPOなどの市民活動団体のために
手 段	多様な分野の市民活動を支援するための市民活動サポートセンターを仮設置することで
想定する成果	活発なコミュニティ活動等の展開を図る。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
登録団体数	110 団体	113 団体	120 団体
市民活動SPC登録 団体会員数	5,245 人	5,949 人	6,200 人
市民活動SPC相談件数	265 件	406 件	600 件
サポートセンター委託料	4,310 千円	6,180 千円	6,180 千円

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	サポートセンター貢献指数 (%)	市民活動団体相談指数 (件)
成果指標の説明	サポートセンター委託料/登録団体数	相談件数/登録団体数

### ⑤事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	51,500 円
	実績	39,189 円	54,690 円	—
成果指標 ②	計画	—	—	5.0 件
	実績	2.4 件	3.6 件	—
事業費	事業費	4,311	6,180	6,180
	人件費	3,247	3,214	3,312
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	4,314,247	6,183,214	6,183,312
財源内訳	国	4,310,775		
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,472	6,183,214	6,183,312

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	登録団体が年々増加し、市民活動団体が活発化されている。また、団体活動の運営での相談件数も増加している。
経済効率性	2	2	費用の主なものが人件費であり、常勤2名、パート2名で1日10時間、年間約300日を開館し対応している。
事務効率性	2	2	仮センター設置が4年目となり、相談件数等の増加に伴い相談業務時間数が増加している。
必要性	3	3	市民活動団体からの認知度が上がり、協働を推進する上で必要である。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	市民活動サポートセンターの設置意義から、市民との参加度は高い。
合計	13 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	協働のまちづくりを推進する上で必要な施設であり、活動の活発化に伴い、平成18年度の本稼動に向け順調に活動実績をあげている。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急雇用対策で仮稼動をし、平成16年度から活動状況に応じて市単独費用にて増員を図った。</li> <li>相談業務とは別に、市民活動団体同士のコーディネート事業を実施するようになった。</li> </ul>
--

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動の活発化に伴い、現在の体制では慢性的な人員不足に陥っており、常勤3名体制での体制に改善する。</li> </ul>
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> <li>常勤職員の増員</li> </ul>
---

⑩組織、人員に関する提言

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズの多様化に伴い、新たに「まちづくり課」などの協働に関する対応課の創設。</li> <li>行政職員のNPO団体への派遣研修の実施</li> </ul>
---

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
事業コード		事務事業名	三河港各種団体推進事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いのあるまちづくり	港湾・海岸

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	三河港のために
手 段	各種三河港各種団体に負担金を支払い、事業に参加することで、
想定する成果	三河港の港湾機能の整備促進や総合的な発展による地域産業の発展を図る。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
対象団体	9 団体	10 団体	9 団体
三河港振興会負担金	2,280 千円	650 千円	650 千円
	目的；三河港の港湾機能整備促進・港湾計画促進・港湾施設整備、利用充実に目的とし、三河港該当県市町及び商工会議所等により構成 内容；要望活動・調査研究委員会活動・パンフレット作成など		
三河港整備促進協議会負担金	584 千円	545 千円	483 千円
	目的；三河港整備推進を対象に、三河港の背後地の各市町で構成 内容；三河港ポートセミナーの開催、研修視察の受入など		

### ④成果指標

成果指標名	①	②
三河港振興会負担率		三河港整備促進協議会負担率
成果指標の説明	蒲郡市負担金／事業費総額*100	蒲郡市負担金／事業費総額*100

### ⑤事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	4.6%
	実績	9.5%	4.7%	—
成果指標 ②	計画	—	—	17.0%
	実績	19.2%	17.9%	—
事業費	事業費	3,763	2,250	2,077
	人件費	1,623	1,607	1,656
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	3,764,623	3,857	3,733
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,764,623	3,857	3,733

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	1	三河港の港湾機能整備の要望等、順調に活動を行っている。
経済効率性	2	2	三河港（豊橋市、田原市、御津町等）等の関連市町、国、県、産業界により、活動費用を負担している。
事務効率性	2	2	国、県、各市町及び港関連企業との連携となるため、調整等時間がかかる。
必要性	3	2	三河港蒲郡地区の発展に、非常に有効である。
小計	9 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	1	1	三河港関連民間企業も参加している。
合計	10 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	三河港蒲郡地区の発展のために非常に必要であるものの、事務局が豊橋市及び県に置かれるケースが多いため、蒲郡地区の振興が後手となってしまふ。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度に中山航路の完成に伴い、1団体を解消し、費用の削減を図った。</li> <li>・三河港振興会の事務の見直しに伴い、負担金が減少した。</li> </ul>
--

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体において、事業が似通っている団体の統廃合の検討。</li> <li>・三河港蒲郡地区の推進に向けて、積極的な各種団体へ関与する必要がある。</li> </ul>
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

<ul style="list-style-type: none"> <li>・三河港蒲郡地区の振興を図るため、三河港振興会事務局へ職員の派遣等、積極的な関与を実施する。</li> </ul>
--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
事業コード		事務事業名	権限委譲事務事業	
根拠法令等	地方分権一括法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
市民とともに歩むまちづくり	行政

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市に関する事業について
手 段	愛知県から蒲郡市へ権限を委譲することにより
想定する成果	住民に身近な市において地域課題の解決が完結して行えるようにする。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
権限委譲事務数	20 事業	18 事業	20 事業
委譲事務交付金総額	1,196 千円	1,092 千円	1,357 千円
主な権限委譲事務	計量法に基づく勧告事務、遺児手当支給事務、土地の形質変更等許可事務など		

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	委譲事務1件当たりの交付金	権限委譲した事務数
成果指標の説明	交付金総額／権限委譲事務数	権限委譲した事務数

### ⑤事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	6,785 円
	実績	5,980 円	6,067 円	—
成果指標 ②	計画	—	—	4 事業
	実績	2 事業	0 事業	—
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	812	804	828
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	812	804	828

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	愛知県等が示すメニューに沿って権限委譲を進めており、市が積極的な関与が低い。
経済効率性	2	2	担当各課との調整が主な事業となるため、費用はかからない。
事務効率性	2	2	毎年見直しがあるため、取りまとめに要する時間は短縮している。
必要性	3	3	地方分権の推進にあたり、非常に重要な事業である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	0	0	市民の意見等を集約していないため、市民参加度はなし。
合計	8 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	地方分権を推進するにあたり、非常に重要でありながら、事業展開の進捗は見られない。理由として、国が示す三位一体改革の補助金部分が確定していないため不安定な状況であるため。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所内の電子フォーラムを活用し、全職員へ権限委譲のテーマが閲覧できるようにした。</li> <li>県の示すメニューの権限委譲項目を関係各課とヒアリングし、情報を共有した。</li> </ul>
---

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>地方分権において権限委譲は重要事項であり、今後より検討を重ねる必要がある。そのために指針や計画を早急に策定し、関係各課の事務分掌の改正を行うべきである。</li> <li>権限委譲の項目を市民からの要望を取り入れ、市民ニーズに迅速な対応できる行政体制とする。</li> </ul>
---

⑨平成18年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> <li>地方分権検討委員会の設置に伴う委員会費用</li> </ul>
--

⑩組織、人員に関する提言

<ul style="list-style-type: none"> <li>権限委譲と事務分掌を実施する課を同一とし、効率的な運営を図る組織体制とする。</li> <li>権限委譲に伴う関係各課とのヒアリングを行い、受け入れ態勢など協議が必要。</li> </ul>
--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載



## 平成16年度事務事業評価表

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
事業コード		事務事業名	市制50周年記念事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

### ①総合計画での位置付け 基本目標

	施策名
その他	その他

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市民のために
手 段	市制50周年記念事業を企画、運営、支援をすることで
想定する成果	蒲郡がもっと好きになり、新しいまちづくりの担い手づくりが期待できる。

### ③事業の概要

項 目	平成16年度実績					
実施6事業	地域の里づくり事業 音楽のまち蒲郡事業 CBCラジオ公開録音事業 団体自主事業 蒲郡音頭等CD化事業 エコーはがき作成事業					
延べ参加者	—	32,160 人	1,540 人	3,042 人	—	—
市負担額	7,000 千円	20,000 千円	3,000 千円	5,025 千円	89 千円	565 千円
事業費	7,000 千円	25,000 千円	—	11,719 千円	89 千円	565 千円

### ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	市民参加率	市負担率
成果指標の説明	延べ参加者数／蒲郡市人口＊100	市負担額／事業費総額＊100 (CBCラジオ公開録音事業を除く)

### ⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	—	44.9%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	73.6%	—
事業費	事業費	—	36,742	—
	人件費	—	2,411	—
	(人数)	—	0.3	—
	合計	—	39,153	—
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	—	39,153	—

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	多数の市民の参加により、記念事業は大いに盛り上がった。
経済効率性	3	3	市負担以外にも企業等の負担により。市民一人あたりの市負担額は軽微なもので運営された。
事務効率性	2	2	市民参加による実行委員会運営、事業展開数などの理由で想定以上の負担があった。
必要性	3	3	市制50周年の節目であり、市のまちづくりの非常に必要である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	3	2	市民とともにをテーマとした記念事業であり、約半数以上の市民参加があった。
合計	14 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	市制50周年として「ずーっと大好きがまごおり」をキャッチフレーズに掲げ、企画、実行を市民とともに作り上げることができ、大盛況であった。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・市民参加による実行委員会を採用し、市民による記念事業運営ができた。

⑧今後改善すべき点

- ・「音楽のまちづくり」などの事業が継続できるための支援が必要

⑨平成18年度予算に反映する項目

- ・「音楽のまちづくり」などの事業が継続できるための補助金等の支援

⑩組織、人員に関する提言

- ・年間を通じた事業展開のため、単年度の推進室等の組織があれば良かった。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載